



令和8年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和7年8月8日

上場会社名 アプライド株式会社
コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 圭介

TEL 092-481-7801

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和8年3月期第1四半期の連結業績(令和7年4月1日～令和7年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年3月期第1四半期	9,712	1.3	566	19.4	574	20.2	396	22.8
7年3月期第1四半期	9,838	4.2	474	30.4	477	30.8	322	30.8

(注) 包括利益 8年3月期第1四半期 398百万円 (22.6%) 7年3月期第1四半期 325百万円 (30.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年3月期第1四半期	146.62	
7年3月期第1四半期	119.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年3月期第1四半期	19,494	12,162	61.8
7年3月期	20,179	11,953	58.7

(参考) 自己資本 8年3月期第1四半期 12,049百万円 7年3月期 11,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
7年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
8年3月期		30.00		70.00	100.00
8年3月期(予想)		30.00		70.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和8年3月期の連結業績予想(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	0.4	2,700	1.2	2,700	0.4	1,775	0.4	656.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	8年3月期1Q	2,703,200 株	7年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	8年3月期1Q	308 株	7年3月期	269 株
期中平均株式数(四半期累計)	8年3月期1Q	2,702,915 株	7年3月期1Q	2,703,048 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や物価上昇が続いたものの、雇用・所得環境の改善により、個人消費や設備投資は増加傾向で推移し、緩やかな回復基調が続きました。

IT業界においては、デジタルシフトの定着による多様な働き方の浸透や、コスト削減を目的としたデジタル化ニーズの高まり、企業の研究開発部門における設備投資の拡大などを背景に、企業のIT投資は底堅く推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、Windows10のサポート終了に伴う入れ替え需要の取り込みや、省力化・時間短縮を実現する高性能・高耐久仕様のパソコンの開発・販売、データ関連ソリューションや保守サポートなど、専門分野での強みを活かした営業展開により、顧客基盤の拡大と関係深化に努めました。

全国26店舗を展開するパソコン専門店「アプライド」では、法人のお客様のデジタル課題解決を支援するビジネスセミナーを各拠点で開催し、用途に応じた製品・サービスのご提案を強化することで、差別化を推進しました。

大学向け販売を主軸とするSI営業では、各エリアの営業拠点からの機動的な訪問活動を通じて、ソフト・ハード両面から研究開発環境に対する提案・販売に注力しました。

BtoB販売を中心とする外販営業では、オンライン・オフライン双方での商談やセミナーを積極的に展開し、新規案件の獲得に加え、独自の顧客管理システムを活用した深耕営業を強化しました。

化粧品・雑貨専門店「ハウズ」は、九州および愛知に計5店舗を展開し、独自開発商品の展開やイベント開催を通じて、来店者数の増加と収益性の向上に取り組みました。

出版・広告事業を手がける「株式会社シティ情報ふくおか」では、書籍の出版に加え、SNS・動画等のコンテンツ制作や、行政・自治体との連携による事業、各種イベントの企画・運営など、アナログとデジタル、地域イベントを組み合わせた独自施策を展開し、事業の拡大を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は97億12百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は5億66百万円（前年同期比19.4%増）、経常利益は5億74百万円（前年同期比20.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億96百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

セグメントごとの売上高は次のとおりです。

- ①パソコン・ゲーム事業は、「AIの日常化に挑戦する会社」直販型メーカーを目指し、令和7年10月Windows10サポート終了に伴う買い替え需要が高まるなか、高単価高付加価値製品の販売とサポート販売に注力することで、売上高は79億27百万円（前年同期比8.4%増）となりました。
- ②化粧品・雑貨事業は、「ささやかな、幸せ感の創出」小さな感動が溢れる雑貨店を目指し、アプライドグループ運営の「ひーな農園」・「とわガーデン」と連携を深めることで差別化を推進し、オリジナルギフト販売拡販により店舗の魅力を高めたものの、卸売り販売が減少したことから、売上高は17億14百万円（前年同期比29.7%減）となりました。
- ③出版・広告事業は、「県内ダントツの情報発信基地」を目指し、月刊タウン情報誌「シティ情報ふくおか」出版・Webサイト「ふくおかなび」運営・SNS運用代行・地方自治体PR広報等、幅広く事業を展開し、売上高は79百万円（前年同期比12.0%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億84百万円減少し、194億94百万円となりました。これは主に、売掛金が13億98百万円減少し、棚卸資産が9億91百万円増加したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ8億93百万円減少し、73億31百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億98百万円減少したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ2億9百万円増加し、121億62百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益3億96百万円等により利益剰余金が2億7百万円増加したためです。この結果、自己資本比率は、61.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和7年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,971	5,528
電子記録債権	25	72
売掛金	7,335	5,936
棚卸資産	1,009	2,001
その他	282	302
貸倒引当金	△60	△60
流動資産合計	14,565	13,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,024	2,018
土地	2,384	2,384
建設仮勘定	10	148
その他（純額）	151	156
有形固定資産合計	4,571	4,709
無形固定資産	14	14
投資その他の資産		
敷金及び保証金	539	533
その他	488	456
投資その他の資産合計	1,027	989
固定資産合計	5,613	5,713
資産合計	20,179	19,494

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和7年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和7年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,624	3,025
1年内返済予定の長期借入金	89	75
未払法人税等	562	169
契約負債	2,401	2,522
賞与引当金	194	108
その他	631	718
流動負債合計	7,504	6,620
固定負債		
長期借入金	308	295
長期未払金	406	406
その他	6	8
固定負債合計	721	711
負債合計	8,225	7,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	909	909
利益剰余金	10,550	10,757
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,840	12,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益累計額合計	0	1
非支配株主持分	111	113
純資産合計	11,953	12,162
負債純資産合計	20,179	19,494

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
売上高	9,838	9,712
売上原価	7,555	7,293
売上総利益	2,283	2,418
販売費及び一般管理費	1,808	1,851
営業利益	474	566
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	-	1
受取手数料	1	1
受取賃貸料	3	3
協賛金収入	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	5	8
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	1	-
その他	0	0
営業外費用合計	2	1
経常利益	477	574
税金等調整前四半期純利益	477	574
法人税、住民税及び事業税	103	144
法人税等調整額	49	31
法人税等合計	153	176
四半期純利益	324	398
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	322	396

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
四半期純利益	324	398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	325	398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322	396
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	合計 (注)2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,314	2,440	83	9,838	-	9,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	7	8	△8	-
計	7,315	2,440	90	9,846	△8	9,838
セグメント利益又は損失(△)	430	△9	9	430	44	474

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去44百万円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	合計 (注)2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,925	1,714	72	9,712	-	9,712
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	7	9	△9	-
計	7,927	1,714	79	9,721	△9	9,712
セグメント利益又は損失(△)	523	△8	7	522	43	566

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去43百万円であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和7年4月1日 至 令和7年6月30日)
減価償却費	43百万円	47百万円